

授業科目 命の倫理

【担当教員名】 栗崎 由貴子		対象学年	1	対象学科	理学・言語・臨床
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	○	○	
【概要・一般目標：GI0】 保健医療福祉に携わるものとして、特に基本となる生命および人権の尊重について焦点を当て、自他の命や人権を深く考えられるような態度を育む。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 人の命をどのように受け止めているのかについて、自己の考えを述べることができる。 2. 命の倫理に関して、現在社会で起こっている状況について列挙できる。 3. 保健医療福祉における命の倫理にかかわる諸問題について説明することができる。 4. 事例を通して、自己の考え方を述べるができる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション				担当：栗崎 由貴子
2	身体について考える				担当：栗崎 由貴子
3	身体と生命（脳死と臓器移植）				担当：栗崎 由貴子
4	身体と生命（生殖医療）				担当：栗崎 由貴子
5	身体と生命（安楽死問題）				担当：栗崎 由貴子
6	食の倫理学				担当：栗崎 由貴子
7	意見交換会				担当：栗崎 由貴子
8	まとめ				担当：栗崎 由貴子
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 出席および態度 50% 講義レポート 50%		【履修上の留意点】 ※時間割で指定されたクラスで履修すること 講義時間内でレポートを作成し提出する。それが評価対象となるので、講義は休まずに出席すること。			